



私自身が楽しく暮らせたから やっぱりこの街が安心なんです

便利で楽しめるものばかりがそろう都会生活から、生まれ育った下野市での暮らしを選んだ齋藤さん。結婚10年目、今は家族時間が一番の宝物となった。



齋藤秀晃さん

高校卒業後、東海大学に進学。都内の企業に就職しUターンし、現在は地元製造業に勤務。子育ても協力的な3児のパパ。

下野市出身の私は、高校を卒業するまで当然地元暮らし。県外にでたのは、大学進学のために上京した静岡県が初めてでした。4年間の大学生活の後は、都内の企業に就職し、横浜に住んでいた兄と同居するが、社会人生活をスタートしました。満員電車で揺られながらの通勤は、なかなか慣れないし、思いのほか疲れがたまるものでしたね。それでもなんとか無事に、数か月の研修期間を終えて、いよいよ全国各所へ配属先を決定するというときに、選択肢のなかに、栃木を発見したんです。東京は楽しいところですが、自分のなかで将来的に「住む」という想像がつかなくなりました。即、Uターンを希望しました(笑)。

勤務先は宇都宮市。そこで妻と出会い、結婚。長女の小学校入学を機に、下野市に戻りました。現在は、妻と小学4年生の長女、2年生の長男、幼稚園年中の次女と、にぎやかな毎日をおくっています。

市外出身の妻は、下野市での暮らしを「自分が住んでいた街よりはるかに生活がしやすい」と、満足しているよう。地方ならではのメリットもありませんが、同じ街中でも、便利なのは駅周辺だけという街も少なくないですね。でも下野市は、どの地域で暮らしても、交通にしろ買い物にしろ、生活面で不便しない街なんです。それは私自身が18歳まで不自由することなく、この街の暮らしを楽しんでこられたから、確信をもって言えること。だから安心して地元での暮らしを望むことができた。まだ小さい私の子どもたちも、この街で、たくさん楽しい思い出をつくり、すくすくと健やかに育ってくれたらと思っています。

**不自由なく「住む」をイメージできる街
確信をもてたからこそ、今につながった**



幸せな暮らしがある下野市の魅力

Charm Point

03

齋藤秀晃さん



休日は家族みんなで過ごすことが多いという齋藤ファミリー。2人の女の子は地元のチアリーディングクラブに所属し、地元のイベントなどで披露。身体を動かすことが好きなお子さんたちと、家の中だけでなく、近所を散歩したり、運動公園に遊びに行くことも。思い入れのある老舗店から、オープンしたばかりの飲食店まで街の新店情報もチェックし、家族のお出かけも楽しんでいる。



おすすめSPOT!!

香には見事な薄墨桜も市民憩いの史跡公園

下野国分尼寺跡



下野国分寺跡の東方約600mのところにある国立の寺院。近くの「天平の丘公園」とも、桜の名所としてにぎわう。

昭和5年創業！人気はブランド豚のとんかつ

高砂食堂



長年にわたり愛され続けてきた老舗食堂。「とちぎゆめボーク」のとんかつは、上品でジューシーな味わいが大人気。

キャンプや温水プール一日遊べる都市型公園

三王山ふれあい公園



築山の中央広場や遊具のある広場、3つの古墳からなる自然豊かな公園。温水プールや温浴を完備した施設も併設。